講義名	スポーツ科学演習Ａ（ゴルフ）				
担当教員	越智　祐光				
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 ３時限		授業形態	演習	
履修開始年次	１年生	単位数	2	備考	

主題と概要

ゴルフは、年齢・性別を問わず、生涯にわたって楽しむことが出来るスポーツである。また、プレイヤー自身がジャッジするスポーツであり、周囲への気遣いも求められるスポーツでもあることから、人格形成にすばらしい影響を与えることができると考えられる。本授業では、ゴルフの基礎的な技術の習得と同時に、ルール、マナー、歴史など、ゴルフの知的文化的な部分も学習する。また、ゴルフを通じた受講生間のコミュニケーションやプレーから、人間形成に役立たせることを目的とする。

到達目標

１．「健康」獲得の方法を修得できるようになる。
２．歴史やルール、基礎技術を理解し、説明できるようになる。
３．基礎技術を修得し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。

＊オンデマンドでの受講では、以上の到達目標を達成することが難しい。このため、対面授業とする。
ただし、新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生については、その期間のみ課題学修などによって対応する。

提出課題

中間期のレポート
期末期のレポート
レポート課題は授業で提示する

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

受講者は授業中にスマートフォンを利用し、スイングの動画撮影を行います。
授業計画の後半では、自分のスイングを視認することによって、内的フィードバックを促進します。

評価の基準

※授業実施時間数の4回以上欠席した者は単位を認定しない。
※授業中の評価：受講態度・実技点など……80%
※中間期の評価：レポート課題……10%
※期末期の評価：レポート提出……10%
※新型コロナ感染予防対策として、全ての授業がオンラインに変更された場合については、その時に詳細を伝える。

履修にあたっての注意・助言他

初心者向けの授業となっています。
ゴルフ用手袋を、各自必ず用意すること(右打ちの場合は左手、左打ち場合は右手側のみで良い)。
フィードバックの効果を高めるため、スイングの動画撮影を行います。動画撮影に対応したICT端末を持参してください。
天候や状況によって授業計画を変更する場合があります。

教科書

プリント資料及び参考文献

適宜、プリントを配布する。

授業計画

1　オリエンテーション　本授業の目的、進行、評価について
2　用具の説明と使用
3　エチケット、マナー、ルールについて
4　ショットの基本Ⅰ　グリップ、スタンスと姿勢
5　ショットの基本Ⅱ　クロスハンドでのアプローチ練習
6　アイアンの基本Ⅰ　グリップ、スタンスと姿勢、スイング、ボールの位置
7　アイアンの基本Ⅱ　ウェッジ、ショートアイアンについての説明と練習
8　アイアンの基本Ⅲ　ミドル・ロングアイアンについての説明と練習
9　ウッドの基本Ⅰ　グリップ、スタンスと姿勢、スイング、ボールの位置
10　ウッドの基本Ⅱ　各種ウッドを使用しての練習
11　ショット練習Ⅰ　ボールの位置と視点
12　ショット練習Ⅱ　方向性とスタンス
13　ショット練習Ⅲ　各種アイアンと反復練習
14　各種クラブを使用してのショット練習Ⅰ
15　各種クラブを使用してのショット練習Ⅱ
※新型コロナウイルスの影響により、シラバスを変更する場合があります。
また、種目についても3密を防ぐ目的から内容を変更する場合があります。
※新型コロナウイルスの状況により、接触の恐れのある練習内容については実施できないこともある。
その場合については、到達目標を優先するため内容を変更することがある。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	○	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習…スイングにおける技術や理論について、書籍、動画を通じて知識を蓄えておくと良い(60分)。
復習…スイングの練習は、ある程度必要となる。(120分)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目を受講し、目標を達成することで、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力の５項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。
集団や個人でスポーツ実践へ取り組む中で、明るく元気で、どのような場所でも物怖じすることなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜く力、つまり「ネアカ　のびのび　へこたれず」の精神を育むことができる。また、問題点やその要因を発見し、自らが進んで取り組めるようになる。そして、他者に働きかけ、協力して課題へ取り組むことにより、円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。
生涯にわたってスポーツと関わったり、健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て、理解することができる。
以上は、全学部・学科の所属学生へ共通している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

ICT端末を利用してスイング動画を共有することがあります。
学生間で互いの技術課題の解決方法を考察します。
本科目については対面授業のため、実技を中心とした授業展開となる。」ただし、「新型コロナ感染予防対策として、全ての授業がオンラインに変更された場合については、オンラインによって授業を実施することになるので留意すること。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
日本ゴルフ学会近畿支部会研修会での経験をもとに、技術指導を行いたい。

備考